



# 飯坂ロータリークラブ 週報

**創立** 昭和33年(1958)5月5日  
**ガバナー** 芳賀 裕  
**ガバナー補佐** 西川 博 美  
**会長** 千葉 政 行  
**幹事** 石川 邦 俊

### 地区活動目標

1. 人々が手を取り合つのを促そう。
2. 行動しよう。
3. ロータリー賞へ全クラブで挑戦しよう。
4. あの時(2011年3月)、これまで、そして未来を考えよう。  
「復興フォーラム(復興)への支援協力

【ロータリー特別月間】  
**10月は**  
**経済と地域社会の**  
**発展・米山月間**

2019-2020年度 ◆ 例会日/木曜日 12:30 ◆ 例会場/かむろみの郷 穴原温泉 匠のこころ 吉川屋  
 RI会長 マーク・ダニエル・マローニー 事務局/〒960-0211 福島市飯坂町湯野字新湯6 (吉川屋内) ☎(024)542-2226 Fax(024)543-1433  
 シンクスター・ロータリークラブ (アメリカ・アラバマ州)

通 算

## 第13回 [ 2980 ] 例会報告 令和元年(2019)10月3日(木)

出席委員会報告

|      |        |
|------|--------|
| 会員総数 | 38名    |
| 出席会員 | 26名    |
| 欠席会員 | 12名    |
| 出席率  | 68.42% |

### 言行はこれに照らしてから 「四つのテスト」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

◆開会点鐘 千葉政行 会長

◆国歌斉唱 ◆ロータリーソング [奉仕の理想] 服部裕一 会員

◆四つのテストの唱和 秋葉一彦 職業奉仕委員

◆お客様紹介 佐藤新一 様 (佐藤喜市郎会員のご友人)

【10月の奥様お誕生日】…♪♪♪ おめでとうございます ♪♪♪  
 10月14日 鈴木典子様(正実会員)

.....lunch time.....

### ◆会長あいさつ



今日の九時から喜市郎さんの所でお祭りの準備をさせていただきまして、九時半からは理事会もありましたので理事会のご報告をさせていただきます。10月11日と非常に行事が多く、11月10日は競馬場での移動例会、職場訪問が昨年同様でございます。また、11月には吉川屋さんで北ロータリークラブさんとの合同例会もございまして、地区の行事もたくさん入っております。12月27日には地区大会がパルセで行われますので、より多くの方にお集まりいただいて、大懇親会をガバナーが開催したいということですので、皆様のご参加をお願いいたします。11月には県議会選挙もあります。棄権などせずに投票して下さい。今回は飯坂から立候補はありませんが、福島市からは8名の方を選挙になっております。投票率を上げないと50%未満で選ばれた代表では困りますので、若い方などへの投票の呼びかけをお願いいたします。



毎年お手伝いいたたく 佐藤新一様

### ◆幹事報告 石川邦俊 幹事

A. 月信 「ロータリーの友」10月号 「ガバナー月信」10月号 No.4

#### B. 来 信

- ① 国際ロータリーより 「10月ロータリーレポート 108円(現行106円)」「2019-20年度地区研修・協議会記録」開催日5月18日(土)
- ② 福島中央ロータリークラブより 「2018-19年度地区会計報告」

③ 2018-19年度ガバナー 平井義郎 氏より 「2018-19年度地区会計報告」

C. メーキャップ報告 9/21 ガバナーエレクト事務所開設披露式 佐藤喜市郎 会員  
 9/29 地区米山記念奨学会カウンセラー 安齋忠作 会員

### ◆スマイリングBOX 中島定宏 委員長 【合計3-44】

- 小笠原尚史会員 J 国際交流フェスティバルの成功を願って 欠席お詫び
- 吾妻一夫会員 H 際、喜市郎さん宜しくお願い致します。
- 篠木 勝司会員 H ロータリーの友の前ページに堂々と出てしまっ！
- 大内 勝行会員 H 前回欠席お詫びと今日の喜市郎さんのお祭りスピーチ楽しみにしています。
- 千葉 政行会員 S ・喜市郎会員のスピーチ宜しくお願い致します。 ・まつりも宜しくお願い致します。
- 石川 邦俊会員 S 喜市郎さんのスピーチたのしみしています。
- 中野 哲司会員 S 国際まつりフェスティバルに参加出来なくて申し訳ありません。
- 菅野 浩司会員 S 本日は「すす払い」お疲れさまでした。 前回欠席お詫びとして
- 斎藤 孝裕会員 S 喜市郎さん、ごちそうさまでした。煮物と漬物、美味しかったです。
- 佐藤 真也会員 T すす払い、準備お疲れ様でした。当日もがんばりましょう！！
- 中島 定宏会員 T 欠席お詫び 喜市郎さんのスピーチ楽しみです。



スマイリング報告

### ◆国際交流フェスティバルスケジュール等について 佐藤真也 正SAA



最初に、ロータリー情報委員長としてご案内いたします。ロータリーの友とガバナー月信が配布されておりますが、ロータリーの三大義務の一つですので隔々までお目通し下さい。続きまして、国際交流フェスティバルについて、本日は鈴木重忠委員長が所用により欠席ですので、SAAの私の方からお祭りの段取り等についてお話いたします。5日7時半に喜市郎さん宅に集合し、お神輿を神社に運んで御祈禱を受けます。外国人の方が神社に集合しましたら、全員での記念撮影を行い、そこから出発になります。神社出発後、街中を巡行し、聚楽の広場での飲食を予定しております。巡行が終わって、外国人の方が着替えましたら、バスで吉川屋さんへ移動していただきます。お神輿と軽トラックの片づけ、解体、懇親会の会場設営のお手伝い等、詳しい役割分担は当日委員長から発表がございまして、皆様のご協力をお願いいたします。当日のスムーズな運営と参加される外国人の方々への『おもてなし』を宜しくお願いいたします。

## ◆ 会員スピーチ

### 佐藤喜市郎 会員



今日もお祭り準備のスピーチは私ということで数年前からお引き受けしております。昨日と今日の午前中、皆様方のご協力を得まして、立派なお神輿と伴走車を仕上げることができました。改めまして、皆様に御礼申し上げます。

今まで、お祭りの日にちの変遷等、色々お話をさせていただきました。重複するところもあるとは思いますが、ちょっとお祭りに関しましてレベルのアップしたお話もさせていただきたいと思います。まず、『お祭りというのはしからばなんだ』ということなのです。一番の目的は、お宮入りを楽しくやりたいというのが、集まって来ている人たちの希望や願いだと思います。しかし、お祭りはそういうことではありません。これは飯坂だけではなくて、

日本のお祭りの根底にあるはみんな同じです。お祭りというのは何なのか。お祭りの原点というのは、「災害」または「疫病」が流行った時代、それをどうするか、それは『神の怒りを鎮める』という意味で始まっています。そうでないお宮もあります。それは『五穀豊穰』です。そういったことから始まっています。では、何をどうするか、祭り事を行うメンバーは氏子と言います。氏子は氏神様の子孫というものが氏子です。今はそういうと色々と言弊があるのですが、そこはお祭りに関してですから、誤解しないで聞いて下さい。例えば、わらじ祭りは神事ではありませんので実行委員会なのです。それが主流になっており、飯坂も実行委員会になっています。これは本当の神事から言えば実行委員ではないのです。氏子なのです。氏子というのは、「お祭り」「神社」を守り、継続させていくというのが氏子なのです。そして、神社に対して祭りを盛り上げるのが氏子の役割です。実行委員は何かイベントをするための委員なのです。しかし、今はそういう時代ではありませんから、そのところをよく知った上で協力するのが私はやぶさかでないと思います。わかりやすく言えば、飯坂のお祭りは危険が伴います。責任は実行委員ではなく祭典事務所が取ります。その辺は筋道を立てなくてはならないと思います。今は引き受ける人がいませんから、今のところは何かあればその時だけ大世話人、子世話人が出ます。だから困ってしまうのです。何かあった時も実行委員が来ればいいのですがそうではない。現在は非常に矛盾を感じています。お祭りそのものも一人歩きしていて、飯坂もお宮入りでなぜぶつかるのか。お祭りを早く終わりたいからやるのだと、あれはあくまでも飯坂のお祭りの一つのプロセスなのです。そうではないというのを、皆さんはロータリアンですから、よくご理解していただきたいと思います。

では、「大世話人おおせわにん」「町長まちおさ」「六供ろくく」のお話をさせていただきます。飯坂の「六供」というのは、歴史上、元八幡神社のお神体は八幡寺にあったのです。明治初期まで宗教、仏教と神社が分離され、八幡神社の方に御神体を移しました。移された時に八幡寺の方では、八幡神社に御神体が行きましたから、疎かにされたら困るということで大切にしてもらわなくてはならないと6人の御供を付けました。それを六供と言います。今は六供は大体八幡(やはた)から出ています。元々は八幡寺の寺に深く関わっている方、6人を付けました。現在、六供のお祭りでの玉串奉奠が一番最後です。これも“本末転倒”なのです。本当が一番最初の玉串奉奠は六供なのです。それから、氏子総代、祭典事務所なのです。ところが、六供は神輿巡行係りになっており、その辺のところにも矛盾を感じますが、今はそれを言っても始まりませんから、私は私として理解して、ご協力するという形を取っております。それから、「大世話人」ですが、今は「正大世話人」「副大世話人」と言います。それは、飯坂のお祭りから言えば非常によくありません。それは、昔は世話人を出す時にはその町内の代表者として出すのです。「正」「副」というと、「正」が上です。「副」が下になります。昔は、今「正」といっている方が「下番大世話人」と言っていました。今年なった方が「上番大世話人」と言いました。そういう言葉を使いました。同じ町内で優劣は付けない、上下はない、お互いに尊敬しあう中から「上番」「下番」になりました。飯坂の300年続いているお祭りは、こういうこともきちっと伝えれば、伝統ある祭りに繋がるのではないかと私は思います。もう一つ、「町長」も間違っています。町長は「町司まちおさ」なのです。町を司ってお祭りをきちんとするというのが本当の役割で何も弁償したりするのが町長ではないのです。実際、そういった事は祭典事務所、大世話人の仕事なのです。

私は70歳になりますが、7歳か8歳の頃、祭典事務所に行った時に居た明治20年生まれの方のおっしゃっていたことを思い出してお話しています。それだけ飯坂のお祭りは伝統があり、太鼓も今は「けんか祭り」と言いますが、以前は「飯坂太鼓祭り」「飯坂儀礼太鼓祭り」と言ったのが本来のお祭りの名称です。そういうことを踏まえながらお祭りに参加していただきたいと思います。また、我々の山車は「二〇力山車にわかだし」といわれておりました。飯坂は二人の力で出す「二〇力山車」なのです。その辺のところも意味をよくご理解されて、楽しくお祭りに参加していただきたいと思っております。皆さんは頼まれてくる方と違って、ここに居られる方は、将来の飯坂のお祭り、地域を担っていく方ですので、この辺のところをよくご理解されて、楽しいお祭りにされれば大変ありがたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

※「二〇力山車」については2017-18年度第12回週報をご参照下さい。

◆閉会点鐘 会長

すす払い・準備



ご協力いただいた会員の皆様、お疲れ様でした！